



北海道国立大学機構

オープンアクセス加速化に向けた試み

2024年11月6日

帯広畜産大学 学術情報室
得能由貴

tokunou@obihiro.ac.jp



小樽商科大学
OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



帯広畜産大学
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine



北見工業大学
KITAMI Institute of Technology

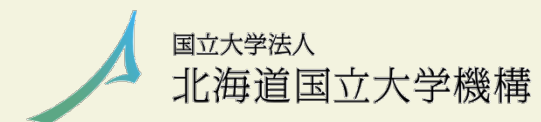
「北海道国立大学機構」とは



国立大学法人北海道国立大学機構は、
「商学」を専門とする国立大学法人小樽商科大学、
「農学」を専門とする国立大学法人帯広畜産大学、
「工学」を専門とする国立大学法人北見工業大学、
この三大学が経営統合し、2022年4月に創設されました。

商学・農学・工学を担う国立大学の結束と産学官金の強力な連携により、
学びの探求と実践力の向上に意欲と情熱を持つ多様な学生・社会人が、
国内外から北海道に数多く集う「実学の知の拠点」を形成し、
ステークホルダーの期待に応えて社会の発展に貢献します。

※オープンアクセス加速化事業申請書より抜粋



大学図書館がオープンアクセス加速化に取り組むために．．．

即時OAの推進により、機関リポジトリに登録する論文等が増えるため、人的リソースの不足が予想される



リポジトリ登録業務の負担軽減策を三大学の職員で議論



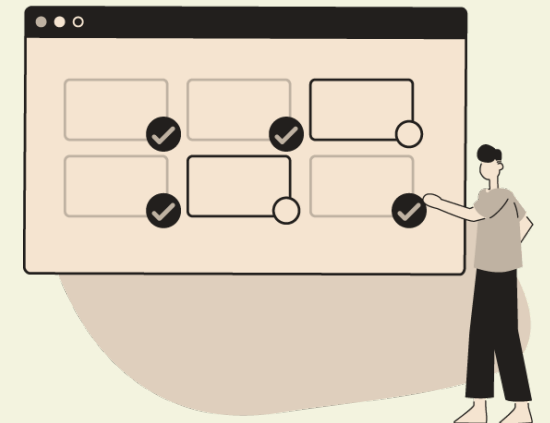
三大学のリポジトリ登録フローは微妙に違うことが判明



まずは効率的な業務実施に向けて共通化に取り組む

共通化できそうな部分は. . .

- リポジトリへの登録作業 (①)
- DBからの論文情報の収集 (②)
- 著者への許可取りメール作成 (③)
- ポリシーチェック簿の共有
- 管理台帳
- インデックス (の大枠)
- メタデータ項目



共通化できる部分は自動化まで. . .

Target ②

DBからの 論文情報収集

- CiNii
- Scopus

出版者ポリシー の仮調査

- Sherpa Romeo 等

台帳・JCとの 重複確認



三大学共通管理台帳の作成

自動化のキーとなる台帳を備える

- 1) 論文情報
- 2) 担当者による追加調査項目
(筆頭著者所属、エンバーゴ等)
- 3) メール作成フラグ、JC登録フラグ等



Target ③

著者への原稿提供依頼メール作成

- 三大学の所定フォーマットに合わせた本文作成
- 台帳から必要データを取り込み、メール下書きまで実施

Target ①

リポジトリ登録

- インポートファイル作成
- JCへのログイン
- ファイルのインポート
- 台帳のフラグ更新



現在の取組状況

- 三大学合同RPA研修を実施し実務に必要な知識を修得
- 自動化できる業務について内製と外注の切り分け検討
- RPAツールはMicrosoft Power Automateを予定
- 自動化に向けてシナリオ単位で業務整理



既存の職員でOA加速化により増加するリポジトリ登録に備える